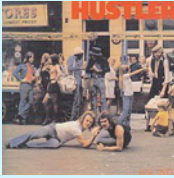




2010. August

# Kakereco Greetings

Vol.1



Kakereco  
Chart  
2010. July



01. HUSTLER / HIGH STREET
02. WISHBONE ASH / LIVE IN TOKYO 78
03. HATE / HATE KILLS
04. GORDON WALLER / ...AND GORDON
05. FELT / FELT
06. YARDBIRDS / LIVE FEAT JIMMY PAGE
07. HUSTLER / PLAY LOUD
08. BULL ANGUS / FREE FOR ALL
09. MORLY GREY / ONLY TRUTH
10. SOLSTICE / MIRAGE and ESPRESSO

## Introduction...

この度、私どもカケハシ・レコードでは、素晴らしいロック・ミュージックと、愛情豊かでいつも情熱的なロック・ファンとの最良のカケハシでありたい。との想いを、より一層お客様と分かち合うべく、オリジナル・ファンジン「Kakereco Greetings」を創刊する運びとなりました。ここ数年、音楽を聴く環境、買う環境は目紛しくも変化し続けています。そう言った中にもあっても、いつまでも色褪せず、熱心な音楽ファンの心の中にもあり続けるのは、素晴らしい音楽との出会い。そして音楽を通して分かち合う感動と喜び。私やあなたの日々の生活や人生の中で、いつも鳴り続けて来た数多のロック・ミュージック。幾つになっても変わらない、音楽への高鳴る鼓動と期待を胸に、皆様とご一緒に、ささやかではございますが、このような冊子で、今後ともお付き合い頂ければと考えております。それでは、創刊号の始まり始まり...! どうぞ宜しくお願い致します。

## John Fogety (CCR) Returns..! at Fuji Rock 2010

今年のフジロックで38年ぶりの来日を果たしたJohn Fogety。もちろんCCR時代の代表曲「Have You Ever Seen the Rain?」を演奏してくれたわけですが、この曲の歌詞にまつわる逸話は諸説あります。素直に歌詞を読むと天気雨について歌っているようですが、実はアメリカ軍がベトナムに降させたナパーム弾を擲擄してるとか、まあ本人曰く、実際は万事好調にいったCCRに亀裂が生じ始めたことを天気雨で表したということ。ただ、もともとは雨の少ない乾燥した南部地域で日常的に使われる「よお、元気か?」といった程度の挨拶言葉のようです。それを知ってみると、あれ、皮肉たっぷり聞こえてくるのです。連日大雨で足下なんか泥沼だった今年のフジロック、「雨を見たい」って? もう見飽きたよ...



text by  
M K

# Kakereco Listening Room

第1回 小林 宏彰さん  
1964年 東京生 46歳

「思い出のレコード」

ピンク・フロイド「原子心母」  
PINK FLOYD / ATOM HEART MOTHER  
～1978 あの日、ボクは革命を志した～



「口裂け女」と「ナンチャッテおじさん」が世間を騒がせていた78年。中2だったボクは学校の放送室をジャックした。落ちこぼれたちが放送室に立てこもり、「オレたちは腐ったミカンなんかじゃねえ」と訴え反響を呼んだ、あの「金八先生」が放送される2年前のこと。当時、ボクの学校では給食の時間、BGMとしてレコードがかけられていたが、放送委員が選ぶのはピンクレディーなどの歌謡曲が中心。聴く人がいないとの理由で洋楽のリクエストはことごとく拒否され、一部英語の「ガンダーラ」でガス抜きをする、そんな毎日だった。「これが権力ってヤツか」。歌謡曲で臍抜けにしようという1984的な世界に造反しようとして、その日、放送委員の女子を人質に、半ば脅すように放送を要求したのがこのレコードだった。片面1曲24分。「どうだ、セカイは広いだろっ!」。いつも騒がしい給食の時間、混声合唱が流れ始めると、静寂が校内を支配した。「????・!!」。かくしてボクの革命は成功した。かどうかはさておき、給食の時間が終わっても曲が延々と続いていたことだけは、教師たちにも鮮烈なインパクトを与えたようだった。

「中2病」という言葉がある。多感な思春期、洋楽を聴き始め、うまくもないコーヒーを飲み、「アメリカって汚いよな」って急に言い出す頃。まさにそんな時期にハマったのがこの一枚だ。牛乳の宣伝かと思まがう、全面、牛のジャケットは、今思えば「ロハス」を先取りしたような哲学的な雰囲気醸し出していた。しかもエンボスだし（若い人分かるかな）。ネスカフェ片手にこれを聴くと、なぜか「違いが分かる」ようになった気がし、ちょっとびりELPを小馬鹿にするようになるまで成長していた（あの「ラヴ・ビーチ」を出した当時）。あれから30数年。それこそプログレ漬けの人生だったが、今にして思うのは、このアルバムが革新的だったのは確かだとしても、中学生がなぜ、マリファナのカも借りずに、アランという人（A・パーソンズ）の朝メシの様に熱心に耳を傾けたのかという点。70年代ってホントいい時代だったんだなあと教えてくれる1枚でもある。

「無人島に持って行きたいレコード10選」

これって、「死ぬ前に何食いたい？」と同じくらい究極の問いですよ。簡単に「整いました〜」とはいきませんが、やっぱり独りで生きるには歌えるものかなあ？悩んだ末の「ファイナル・アンサー」。

1 クイーン/オペラ座の夜  
たぶん生涯で最も聴いた1枚。  
ハードロックから泣きのバラードまで、クイーンの様式美の最高傑作。

2 UK/憂国の四士  
元祖スーパーバンドにして「重厚長大プログレ」中興の祖。  
思春期の私がバンク、ニューウェーブに屈するのを阻止した功績は大。

3 アレア/1978  
ロックが本来持つ攻撃性を凝縮した究極の音楽！  
とにかく、地中海的旋律とあの超絶ヴォイスが衝撃でした。

4 ウィッシュボーン・アッシュ/アガス  
私にとってユライア・ヒープと並ぶ「演歌ロック」の決定版。  
「オーリアー」と「剣を捨てろ」をカラオケで歌うのが夢です。

5 レインボー/オン・ステージ  
世界で一番カッコイイ曲といえば、やはり「キル・ザ・キング」。  
1万円のフェルナンデスのエレキでコピーした日が懐かしい。

6 ルネッサンス/シェヘラザード  
カーネギーホールも納得の「深イイ？」美旋律！  
「オーシャン・ジブシー」を聴くたびに泣いています。

7 ベガーズ・オペラ/宇宙の探訪者  
これぞブリティッシュの哀愁。  
人の曲だけ「マッカーサー・パーク」は世紀の名曲。

8 ジェット/消えゆく希望の灯  
マティア・パザールの前身、私にとってイタリアといえばコレ。  
マティアの音はオシャレなモデルですが、  
こちらはモナリザのよう。

9 ピエロ・デュグメ/5th  
旧ユーゴの代表バンド。エキゾチックなバルカン旋律がたまりません。中心人物はその後、「アリゾナドリーム」など数々のサントラを手掛け、世界的な成功を収めました。

10 ユートピア/悪夢の惑星  
プログレとパワーポップが融合した最高のニッチ。  
天才トッドがOne of themに徹している所がニクイです。

★ Kakereco Twitter  
<http://twitter.com/kakereco>

★ Kakereco Blog  
<http://kakereco.com/blog/>

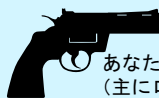
★ Kakereco Mail Magazine  
<http://kakereco.com/magazine.php>



無人島に  
持って行きたい  
レコード10選



第1回 小林 宏彰さん  
1964年 東京生 46歳



.....WANTED..!

あなたの押し入れに眠っている洋楽  
(主にロックやプログレ) を自選した  
『カセット・テープの曲目リスト』  
をエピソードと共に教えて下さい。

address 369-1203 埼玉県大里郡寄居町1630-2  
カケハシ・レコード 企画担当者宛



「カケレコの良いところ・期待するところ」

CD選びに失敗は付き物。膨大なムダが「選ぶ目」「聴く耳」を育てた面も否定できませんが、我が家でも運舩議員顔負けの厳しい「仕分け」により、以前のように気になったCDを次々に購入とはいけなくなりました。そんな中、失敗しないためのカギは、やはり「情報」でしょう。

聴いたことのない音をイメージさせる豊富で系統だったガイド。カケレコには「吹けよプログレ！」などのディスク紹介が満載。しかも「国別」「キーワード別」と使い勝手もよし。上級者には「レーベル別」という、マニアを深みに誘い込むワナも待っています。関連、派生と、好みを増殖させていく我々マニアの生態を知り尽くした心憎い仕掛けです。

YOUTUBE動画の掲載音そのものに触れるのですから、これが一番助かります。収録曲がほとんど聴けるものもあり、まさに「損して得取れ」、太っ腹です。私がカケレコを愛する理由はここにあります。アメリカンプログレに代表される、長年の「食わず嫌い」もこれで解消されました。

すでにロック歴30年以上、コレクションは4000枚を超えましたが、カケレコ 사이트にはまだまだ知らないバンドの作品が眠っているのが驚きです。ここには埋蔵金は確かに存在します。今後もマニアをも唸らせるニッチでディープな品揃え、とくに稀少な中古の仕入れに期待します。

それいけ！  
カケレコくん  
作・K.M No.1



1. OMEGA / 1994 LIVE  
辺境の哀愁を帯びたソフト・シンフォ満載。  
名曲「ガンマボリス」を歌詞もわからないまま  
大声で歌っています。  
SOLARIS、PIRAMIS、COLORもいい。  
カケレコ「ハンガリー特集」で。

2. HAIKARA / HAIKARA  
ヘンテコでエキゾチックなメロディーは  
病みつきになります。

3. POLLEN / POLLEN  
新大陸は苦手でしたが、  
ケベックは傑作ぞろいで侮れません。  
ただ、夜寝る時に聴くと、  
なぜかジャケの人が夢の中に出てきます。

4. QUARTETO 1111 / 74年作  
やっとなに入れてました。  
メロトロン好きは必聴。

5. WINTERHAWK / REVIVAL  
HRは卒業したつもりでしたが、  
焼けぼっくに火がつかました。  
いい音には元カノのような魔力が・・・  
皆さん、気をつけなはれ！



2010. September

# Kakereco Greetings

Vol.2



Kakereco  
Chart  
2010.  
August



01. ANGLAGARD / EPILOG
02. MORLY GREY / ONLY TRUTH
03. DISCUS / ...TOT LICHT !
04. GOLEM / ORION AWAKES
05. PASSOVER / SACRIFICE
06. MY BROTHER THE WIND / TWILIGHT IN THE CRYSTAL CABINET
07. IF / FIBONACCIS NUMBER: MORE LIVE IF
08. ROCOCO / RUN FROM THE WILDLIFE
09. BOJOURA / NIGHT FLIGHT NIGHT SIGHT
10. TURID / STARS AND ANGELS: SONGS 1971-75

## Introduction...

この度、私どもカケハシ・レコードでは、素晴らしいロック・ミュージックと、愛情豊かでいつも情熱的なロック・ファンとの最良のカケハシでありたい。との想いを、より一層お客様と分かち合うべく、オリジナル・ファンジン「Kakereco Greetings」を創刊する運びとなりました。ここ数年、音楽を聴く環境、買う環境は目紛しくも変化し続けています。そう言った中であっても、いつまでも色褪せず、熱心な音楽ファンの心の中にあり続けるのは、素晴らしい音楽との出会い。そして音楽を通して分かち合う感動と喜び。私やあなたの日々の生活や人生の中で、いつも鳴り続けて来た数多のロック・ミュージック。幾つになっても変わらない、音楽への高鳴る鼓動と期待を胸に、皆様とご一緒に、ささやかではございますが、このような冊子で、今後ともお付き合い頂ければと考えております。それでは、今号は第二号の始まりです...! どうぞ、宜しくお願い致します。

## Kakereco Customer Voice ...!

- ★ 国内でも貴重なスタンスの CD - SHOP だと思います。これからも頑張ってください。(T様)
- ★ ハンガリーもの結構頑張っておられますよね。その他の東欧ものも充実させて欲しいです。(M様)
- ★ イギリスのフォーク、SSW の特集を期待しています。(Y様)
- ★ 実際に商品を購入して聞かれた方のレビューをもっと読みたいです。ニッチな作品は良いことも悪いことも含め知りたいですから購入された方の意見は参考になります。カケレココメントは非常に的を得ていると思います。正直 CD の内容が期待に沿わないこともあります。購入してからカケレコ・コメント読み返すとなるほどこういうことだったのかと思うことが多いです。失敗する度に、購入前にカケレコ・コメントを良く読んで注意して購入しようと毎度思います。(Y様)





# Kakereco Listening Room

「思い出のレコード」

Vol.2



パークレイ・ジェームズ・ハーヴェスト「静寂の海」  
BARCLAY JAMES HARVEST / GONE TO EARTH

第2回

vertigo6360002 さん  
静岡県生 50歳



～プログレを聴くぞ！と意識して、  
気合い入れて買いました。人生変わりました(笑)～

高校2年までは、流行りモノ（EAGLES、BEATLES からかぐや姫、泉谷、キャンディーズまで）を普通に聴いておりました。ただ、男子の半分位にクリムゾン、イエス、ツェッペリンとかのLPの貸し借り市場が存在しておりました。私も仲間に入りたくなり「宮殿」借りたんですが、刺激が強くて「何？コレ？」となったんです。それでもニッチな奴らからボストンとかカンサス借りて「この辺からなら聴けそうかも」と決意？したわけです。

ちょうど週刊プレイボーイでそこらへんのバンドの特集が掲載され（今じゃ考えられないよね、プレイボーイですよ！）BJHの当時の最新作「静寂の海」が紹介されてたんです（ホントだった！）。レコード屋で試聴してぶっ飛びましたね。音がイイ！霧のかかった残響音！当然、曲の持つ雰囲気やジャケット（変形くりぬき）含めた衝撃だったとは思いますが。ピンク・フロイドの「マナー」聴いた時はびっくりしただけでした。今から考えればプロデュサーのDavid Rohl（マンダラ・バンドのヒトですね）との相性は抜群だったんでしょうね。この一枚がこの道にハマって現在に至っております。一番嬉しかったのはメジャーなプログレ道（なんか変だな）専門の級友から「お？結構構いの聴いてるじゃん！貸して！」と言われて仲間に入れたことです（笑）。

それからは、まずはBJHのLPを全制覇。次に関連メンツの諸作品を漁りながら「おとなしめ系大英帝国、重箱隅ほじり」に奔走したわけです。LPの時代は国内盤なら3年間はカタログののってましたからポリドール時代は高校生のおこずかいでなんとかなったんですが、ハーベスト・レーベルの作品は輸入盤しか生きてなくて、大学生になってから西新宿のお世話になるしかなかったわけで…。もう、すべてがここからですね（泣）。

「静寂の海」に出会わなければユーロも聴かんかっただろうし、廃盤に手を出すこともなかったでしょうね。カケハシさんとも無縁だったでしょう。まあゴルフやって、カラオケやって、ビール呑んで腹も出たでしょうね（別に今と変わらんか、笑）。自分としては「いい趣味もってるじゃん！」とご満悦。奥さん、娘も一応認めてくれとるし。いい縁だったと思います。

## 「カケレコの良いところ・期待するところ」



初めてアクセスした時は「おい！うそだろ！」とビビりましたね。キャパビリティの1st、クレイジー・カット、ハドソン・フォード、ジューダス・ジャンプ等々…大英帝国博物館じゃねーの！正規再発されてんの？目が回りました。それから宝探しみたいに毎日チェックしなきゃいられない、所謂「カケハシ依存症」になってしまいました。品揃えが驚異的、これが最大の魅力です。レビューも的をついてるし、他のリスナーさんのレビューも結構面白いね。購入は購入者の責任とってます。作品の「善し悪し」はリスナーの個人的評価ですから5枚買って1枚当たればいいと思ってます。宝探しの場所を提供してくれるだけで満足してます。自分の趣味に投資するくらいの気持ちでいなきゃ、いつまでも聴いてません。「ついでに購入」のなかに結構当たり！があるんですよ（笑）。ま、作品とのカケハシになってくれるわけで、これ以上なにも望みません。買いは自分のカンに頼ってます（おっと、レビューも参考にしますよ）。あまり情報が流れると自分のウオントッドが他のリスナーさんにゲットされちゃうのが悩みの種ですか（せこいかな、笑）。

## 「無人島に持って行きたいレコード10選」

「棺桶と一緒にいれてくれ！」だったらイングランドのガーデン・シェッドか、私のペン・ネームのグレイシャスの！  
なのですが（ヘヴン聴きなごら天国へ）。無人島なら楽しく  
ろずさめなければ死んじゃう！キーフのジャケじや気持ち悪くて  
捨てちゃいそうだし（笑）。ということで暗めのヤツはカット、です。

01.セバスチャン・ハーディー / 哀愁の南十字星  
何の気なしに、当時サンタナにハマってただけで予備知識無しで購入。  
老若男女問わず皆さん気に入ってもらえると確信しております。  
大学の研究室でも流しまくり、教授にまで「イ曲だな・・・」  
と言ってもらえました（ホントだって！）。

02.キャメル / プレスレス  
大学入試の共通一次試験（懐かしい！）が終わるまで、購入を我慢した一枚。  
当時の私には自衛心のがはたらきました。「エコーズ」「サマー・ライトニング」  
はキャメル史上最高の曲です。

03.キャラヴァン / 夜毎に太る女のために  
ユーロ・ロック・廉価盤シリーズが始まる前にどさどさ再発されて狂喜しました。  
ん？カンパベリー？当時は知らない！とにかくB面ラストの「いのししの館？狩へいこう」は、  
これぞクラシカル！です。

04.ジェネシス / デューク  
なんだかんだいってもリアルタイムで聴けて幸せでした。  
B面のラストのトラヴェル？エンドの流れには泣けました。ロス・エンドスも好きだけどね。

05.マイク・ラザフォード / スモールクリープス・ディ  
ジャケットも含めて本家以上にジェネシスしてる！と当時は驚嘆しました。  
メカニクスなんかやめて本作の編成で新作出して欲しいと思うのは私だけ？

06.フォーカス / マザー・フォーカス  
三輪岳志氏は「ファーザー・パッパ」。でも私は「I」と「ノー・ハンク・アップス」です！  
ヤン・アッカーマンは後年のライブで「ノー・ハンク？」演ってます。これも必聴ですね。

07.エニド / ライヴ・アット・ハマースミスII  
山崎尚洋氏はIの「ゴッド・セイブ・ザ・クイーン？怒りの日」で  
震えが止まらなかつたらしいけど私はIIの「アルピオン・フェア〜ホープ・アンド・  
グロリー」で涙が溢れました！

08.カンサス / 偉大な聴衆へ  
多くの二枚組ライブでもこれかな？「すべては風の中へ」からアコギ〜ピアノ・ソロと  
続く展開はコレでしか聴けません。鳥肌がたちました。武道館では演ってくれなかったなあ。

09.マーティン・ニューエル / グレイテスト・リヴィング・イングリッシュメン  
基本の良さを再認識させてくれました。クラウ、ウイグワムと迷ったけど  
1アーティスト1枚の縛りで選ぶとこれになるな。当然クイーン、ビートルズも  
全部入っちゃうから泣く泣くパス。

10.アーjent / カウンター・ポイント  
迷いに迷って最後はアナログ。CD-Rにおとして持てきます。  
B J H経由で大好きになりました。後期はかなりカッコいいと思ってます。  
500円で買ったんだけど（ホントです！）見つけた時は卒倒モノでした。

以上10枚、全部英語圏です。無人島＝南の楽園と気楽に考えると鼻唄モノばかり！  
あとマイケル・クアトロ、ジョン・ウエットン、イット・バイツ、スタックリッジなんかも  
島の美女（無人島か…）といっしょに楽しく聴けそうだけど我慢します（笑）。  
やっぱり安全策に走るなあ…。

## 「最近一ヶ月に良く聴いていたアルバム」

いつも「クソ暑い！仕事やっておれん！」季節は、ヒトと接触したくないせいか、  
イスト系とかハード・フュージョン、ジャズ・ロック系ばかりになります。メロロンも痒くなりそうで、  
ひんやりした感じの曲を選んでしまいます。

1. 「パット・メセニー・グループ / ファースト・サークル」  
ヒトに聴かせるなら「シークレット・ストーリー」なんですけど、30年以上、自分の夏のテーマ曲としてタイトル・トラックを  
この時期に聴きまくってます。この曲、下手なシンフォよりも上！無人島レコに入れたかったけど季節限定ですから。
2. 「BANDHADA / Open Cage」チリのジャズ・ロックです。これはホント一曲目で昇天します！  
こういう開放感満載の音楽は大事にしなきゃいかん。
3. 「BAD DOG U / Same」北米のヒト達です。ブラッフォード？UKの美味しいところをまとめて21世紀系ジャズ・ロックに  
進化させた、といった感じです。仕事はかどりました。
4. 「JIM STEELE / Neptune Rising」06年作。何の知識も無しにお店で聴かせてもらって気に入って即買！  
キーボード・トリオです。ジャズ畑のヒトらしく、イェンス・ヨハンセンほどの「がちがち・シンフォ」にはなってません。
5. 「AD ASTRA / Same」08年。北米だと思んですが、これも試聴、即買でした。  
管無し4人編成で、これでもか！弾きたおしギターと暴れ放題キーボードのバトルです。  
メタル出身のヒト達ではないようですね。ハード・ジャズ・ロックです。イタリアのD F Aに近いかな？

無人島に  
持って行きたい  
レコード10選



第2回  
vertigo636002 さん  
静岡県生 50歳





反則だとは思いますが  
「グッとくる名曲」、いかが？



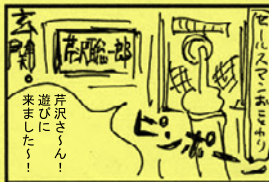
テーマは「泣き」！ text by vertigo6360002 さん

- ①「ピースフル」／セバスチャン・ハーディ  
2nd、「ウインドチェイス」B面ラストのインスト。  
幸せいっぱいになります。
- ②「ドン・キホーテ」／グレゴリー・アラン・フィッツパトリック  
「ビルド・サーカス」の一曲。これもインスト。  
哀愁のピアノ、泣きギターで「ああ」。
- ③「フライト・コール」／ウインドチェイス  
「ウインドチェイス」唯一作のB面ラスト曲。  
別れのラスト・シーンで使って欲しい！
- ④「ゴドfrey・ダニエル」／ニール・イネス  
「オフ・ザ・レコード」収録。  
エルトン・ジョンも真っ青のピアノ弾き語りバラード！
- ⑤「逞しい馬」／ジェスロ・タル  
同名作タイトル曲。  
ダリル・ウエイのヴァイオリンも泣き泣きの号泣モノ！
- ⑥「ネヴァー・ハイド・ユア・フェイス」／カズミ・バンド  
清水靖晃のサクソも泣きまくる、必殺インスト。  
トーク・ユー・オール・タイト」収録。
- ⑦「1900」／坂本龍一  
初回「ラスト・エンベラー・ライブ」、  
あるいはDVDのニューヨーク・ライブで聴けます。  
坂本の若かりしタッチの強いピアノに絡むシンセ！  
お涙頂戴の定番。
- ⑧「ザ・ベスト・イヤーズ・オブ・アウア・ライヴス」  
／パトリック・モラツ  
オリジナルは「i」、A面ラスト。  
ピアノ・セルフ・カヴァーも泣きの超強力曲。
- ⑨「魔法は信じない」／アメリカ  
オリジナルはラス・バラード。カヴァーですが、  
こっちの方が泣ける！ワデイ・ワクテルの泣きギター、  
ティモシー・シュミットのハーモニー、etc…。  
「アリバイ」収録。ホント泣けます。
- ⑩「カンツォーネ」／オザンナ  
「ミラノ？」収録の皆さんご存知の超名曲！  
訛り英語のヴォーカルも愛おしい、  
必殺泣きギターで悶絶しますね。  
これこそユーロ・バラードの最高峰！だと思えます。



それいけ！  
カケレコくん

画 K.M. No.2



といった曲を混ぜて私選「AORお好みベスト」「インストお好みベスト」として  
CDRに焼いて若い同僚にお祝い事のときなんかを作ってあげてます。結構喜んでくれてます。  
当然ヒブノシスなんかのジャケ使って(笑)。結婚式の披露宴なんかでも使ってくれるから、  
わりと「いい上司」やれてるのかな。それで調教？して「先輩！〇〇って、なんてCD買えば  
聴けるんすか？」と聞いてくるので、密かに「イイ音楽振興」やりながら  
プログレの普及やってます(笑)。





2010. October

# Kakereco Greetings

Vol.3



Kakereco  
Chart  
2010.  
September



01. MORLY GREY / ONLY TRUTH
02. WISHBONE ASH / LIVE IN TOKYO 1978
03. HUSTLER / HIGH STREET
04. AKRITAS / AKRITAS
05. SOLSTICE / MIRAGE and ESPRESSO
06. HATE / HATE KILLS
07. FELT / FELT
08. TERPANDRE / TERPANDRE
09. ICEBERG / SENTIMENTS
10. ICEBERG / COSES NOSTRES

## Introduction...

この度は、私どもカケハシ・レコードをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。素晴らしいロック・ミュージックと、愛情豊かでいつも情熱的なロック・ファンとの最良のカケハシでありたい。との想いを、より一層お客様と分かち合うべく、オリジナル・ファンジン「Kakereco Greetings」を8月に創刊して早三カ月あまり。その間、皆様方より、たくさんの温かいご支援、ご感想を頂きました。ここ数年、音楽を聴く環境、買う環境は目紛しくも変化し続けていても、私たち、熱心な音楽ファンの心の中にあり続けるのは、素晴らしい音楽との出会い。そして音楽を通して分かち合う感動と喜び。私やあなたの日々の生活や人生の中でいつも鳴り続けて来た数多のロック・ミュージック。幾つになっても変わらない、音楽への高鳴る鼓動と期待を胸に、皆様とこれからご一緒に、音楽の楽しみ方を探究して行きたいと考えております。それでは、今号は第三号の始まりです...!どうぞ、宜しくお願致します。

## Kakereco Customer Voice ...!

★今回の様なりニューアルクーポン等、まとめ買いでお得になる企画は期待したいです。購入に二の足を踏んでいた商品を、その際に購入してしまいそうになるので^^;(W様)

★とても見やすく、いつもあつというまに時間が過ぎていきます。私はプログレのCDを探ることが多いのですが、国ごとに分かれていて、役立っています。欲を言えば、コラムなどの私的な評価があれば、さらに楽しめる気がします。

ただオススメのものだけではなく、音楽に詳しい方がどのようなものを聴いてこられたのか、また、時代としては、どのような音楽が流行っていたのか(つまり、世界の流れはこうだったが、その時こんな音楽も生まれていた、のような)などがわかると、私のような若造リスナーにも分かりやすいとおもいます。また、プログレのプレーヤーとの対談など、動画で見てみたい!(こちらはかなり難しいと思いますが...)

いつも友人と楽しく見えています。二人とも、同年代では音楽に詳しい方だという自信がありました。カケハシ・レコードを見て、まだまだ勉強不足だということを思い知らされました。より沢山の音楽に触れていきたいとおもいます!!(Y様)



# Kakereco Listening Room

Vol.3

「思い出のレコード」

ユーライア・ヒープ / 悪魔と魔法使い  
URIAH HEEP / DEMONS AND WIZARDS

「ヒープの全メンバーが役割分担した傑作」



第3回

tasuke1984 さん  
群馬県生 48歳



買ったときの天気や情景まで覚えているレコード、CDはそれほど多くありません。ロジャー・ディーンの「悪魔と魔法使い」にするか、鏡を模した「対自核」にするか、1時間は迷いました。使えるお金が少なかったもので。ユーライア・ヒープを買おうと思った理由にはよく覚えています。ディープ・パープル、クイーン以外のハードロックを買いたかったからです。家でこれを聞いたときは、ずっこけました。期待していたハードロックではなく、西海岸のようなアコースティックでしたから。ところが不思議なもので、ヒープの作品の中で一番愛聴する作品になってしまいました。ケン・ヘンズレーが70年代ヒープでは大きな役割を果たしたと思っていますが、彼の悪いところは音をブ厚くしてしまう癖です。この作品はヘンズレーのさじ加減もボックスの下手うまギターも上手い具合に収まっていると思います。何より流れるような構成が素晴らしいです。加えて録音のよさも特筆すべきと思います。CDでは、シングルB面曲の「Why」が収録されています。奇跡のようなベースが聞けます。

Shop Staff Column

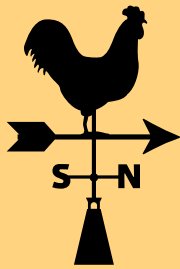
## 70's 渋谷百軒店ブラックホーク伝説

text by Kyonosuke Miyata

「聴衆は音楽の、創造の母だ。」と言ったのは、KING CRIMSONのROBERT FRIPPだが、かつて70年代の東京は渋谷の道玄坂にも、そう言ったリスナーと音楽の幸せな邂逅を演出する、伝説のロック喫茶があった。その店の名は「ブラックホーク」。まだインターネットもCDもなかったその時代、店内では、英米から渡来したばかりの、当時最新鋭のロック・ミュージックが、そのお店の選りすぐったセレクトでかけられていたのだと言う。特筆すべきは、そのお店のスタッフが自ら、そのお店独自のロック、フォーク、シンガーソングライター等をオリジナルのミニコミ誌を発行して、広く日本に紹介していた事。音楽を聴く為に、コーヒーを注文し、時には激しくも音楽談義を繰り広げる…。そんな熱い若者たちの姿がそこにはあった。現在、その辺りはすっかり歓楽街に姿を変えてしまったが、BYG等、いくつか当時を忍ばせるロック喫茶が今も健在だ。

ブラックホークが選んだ伝説の99枚。

サイトには在庫が一目でわかるリストページも設置しております。



# Kakereco Customer's Review

Original Review, Your Own Words !

こちらのコーナーでは、日頃よりお客様からご提供頂いているカスタマーレビューより、一際素敵なレビュー文をご紹介します。

RAGNAROK / RAGNAROK  
レビューア: kobakunさん



「耳を澄ませばあの頃が・・・」  
ああ～、ノスタルジック・ジャズロック

子供の頃、ギアつきの自転車を買ってもらい、うれしくてどこまでも走っていったら、いつの間にか日が暮れ、気がつくと、かなり遠い所まで来て道に迷ってしまった思い出があります。

真っ暗な知らない道を、急いで帰った時の得体のしれないさみしさとペダルの重さ。他人にはどうってことのない昔の思い出ですが、このジャケットを見た瞬間、なぜかあの時の記憶がよみがえりました。懐かしくセンチな気分になりました。

サウンドもまさにそんな感じです。アコースティックとナチュラル・ディストーションのギター。それにエレピ、フルートによるトラッド風のクロスオーヴァー・サウンドは、北欧の片田舎の風景のようで、まるで冷たいRETURN TO FOREVER。とてもゆったりした静かな時間が流れます。

自転車にカーステレオがあれば、ジャケのような夜道を走る時のBGMにピッタリです。印象はかなり地味ですが、リリカルで繊細、音に「表情」があるというのでしょうか。セピア色のような音で、聴いている者をいつしか「あの頃」へと連れ戻す、そんなノスタルジックな、ゆりかごのような音楽です。

「ラグナロク」って、北欧神話の「最終戦争」、キリスト教でいえば「ハルマゲドン」。この渋い音で、なぜこの壮大なバンド名にしたのかは不明ですが、生き物が死に絶える終末の日がいつか来ると考えれば、彼らのコンセプトが何だかわかるような気がします。

バンド名同様、ジャズロック、シンフォニック・ロックの固定観念に縛られて聴くと、ずっこけること請け合いです。少し疲れたかなと感じた時、このCDを聴きながら「来し方行く末」に思いをはせるのもいいんじゃないでしょうか？

★ Kakereco Twitter  
<http://twitter.com/kakereco>

★ Kakereco Blog  
<http://kakereco.com/blog/>

★ Kakereco Mail Magazine  
<http://kakereco.com/magazine.php>



.....WANTED..!

あなたの押し入れに眠っている洋楽  
(主にロックやプログレ) を自選した  
『カセット・テープの曲目リスト』  
をエピソードと共に教えて下さい。

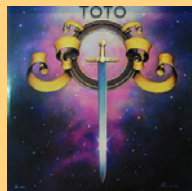
address 369-1203 埼玉県大里郡寄居町1630-2  
カケハシ・レコード 企画担当者宛

# 「グッとくる名曲」

## 今回は「喝！」。

### いまだにアタマが夏バテ状態の私、 こんな聴いて気合い入れてます。

text by vertigo6360002 さん



#### ★①「子供の凱歌」 / TOTO

1st、冒頭の強烈なインスト。高校時代に初めて聴いた時、「おおっ！俺にとってはプログレだぜ！」と、嬉しくてみんなに聴かせてあげました。ライブでルカサーがびよんびよん跳ねながらギター弾きまくってたのが懐かしい。

#### ★②「笑顔で奉仕」 / HAPPY THE MAN

あえてタイトルはエジソンの国内盤CDから。曲名と内容のギャップに「うわあっ！」となったな。2nd、Grafty Hands の1曲目、短いインストですが「ガツ」ときます。

#### ★③「Woven Code」 / IONA

「Open Sky」収録、1曲目。このバンド、アイルリッシュでかたずけられてるけど、ライブDVD観れば絶対アタマにバツで冷水ぶっかけられた様になります！ギターとuilleann pipesの壮絶なリードの凄まじい、サウスポーのBsもカッコいいし、Drも上手いし、女声ヴォーカル！至福ですな。おっと、紹介した曲は9分強のインストです。ライブ・ヴァージョンも是非！

#### ★④「Original View +」 / 奥本亮

スポ・ビのkeyの奥本氏の、大昔の2ndソロ「Makin' Rock」収録、B面2曲目。確か大学生だった頃TOTO、AIRPLAYのメンツが全面参加ということで飛びつきました。TOTOがメタル色入れてメセニに対抗した、つて感じ。近年やっと紙ジャケット再発されました。無くなる前に是非ゲットお奨めします。ちなみに紹介曲は、当然インストで、ルカサー作です（笑）。

#### ★⑤「Housewife's Song」 / Joachim Kuhn

Private Musicからのオムニバス「Piano One」収録。ピアノ・ソロなんですけど、これは彼の作品の中でも屈指の名演、名曲といえます。元気がです！ピアノだけで気合い入る？ホントだよ！Eddie Jobsonも3曲参加してますけど・・・

#### ★⑥「Old Man」 / Alan Lou

「Memories」収録、3曲目。コレ、昨年カケハシで「ついでに」購入（ごめん）した中の一枚。GAMELの「Echoes」好きなヒト、必聴！打ちこみと、ギターの高音部の甘さが気になっても許してやって下さい。01年作ということで、カタログに載ってるうちにオーダーしましょう。あ、インストですから安心して下さい。

#### ★⑦「Cancer」 / CRAFT

唯一作「GRAFTY」収録、4曲目。ボンポ全盛時代にひっそり世に出た、ENIDの分派だね。「宇宙戦艦ヤマト」みたいなアニメ・サントラ風に聴こえるかもしれませんが、それはソレ！軽快なノリで元気でます！ずっと廃盤状態だったと思いますが、ちょうどカケハシ・リストに最近載ってました。持ってないヒト、今がチャンス！だと思いますが・・・

#### ★⑧「Risto」 / Pekka Pohjola

ベッカは好きです。でも、もうないんだよな。彼の諸作の中で一番聴いたのが「Space Waltz」。それをもってコレなんだよなあ。タイトル通り、ワルツのリズムから徐々にスペース・シンフォ・ファンジオンへの流れは清々しき+清涼感満載です。クールミントをぶっつけられた感じ。

#### ★⑨「Headclobbers」 / John Tesh

TVのサントラとかで有名なヒトです。「Tour De France/The Early Years」収録の1曲目。Private Musicにハマってた時買ったんですが、この曲は Jerry Goodmanが壮絶な Loud Violin でギターとバトルしてます。目が覚めるインスト。ニュー・エイジなんて生易しいモンじゃないよ。

#### ★⑩「Los Endos」 / GENESIS

気合い！とくれは、ラストはコレで締め、の定番。お奨めは「GENESIS IN CONCERT '76」ですね。大昔、このライブ・フート・ビデオ観て「すごい！凄すぎる！」と絶句しました。今はDVDも出てるし、Trick Of The Tail のボーナス・DVDにも全編入ってますから。ビル・ブラ&フィル・コリのツイン・ドラムもこれだけ観れないし、ハケットのギターモノ凄まじい！「Seconds Out」超えてます！おっと、Moraz & Ronnie Ciago のコン・エンドスのカバーも、シンセ聴りっぱなしで気合い入りまくりますので念のため。



### それいけ！ カケレコくん 作 K.M. No.3

「前回までのあらすじ」  
面白くて為になる音楽話を聞きに  
芹沢さんの家へ遊びに行った、カケレコくんたち。  
そこには芹沢さんの友人、八重樫治がいた・・・！  
一体この男、何を企んでいる！？

### 目隠し音当て対決1



CDは便利だな。好きな曲だけ拾い聴きできますから、お好みCDも簡単につくれるしね。ちなみに「ハンドル持つと性格が変わる」女の子職員に、結婚祝いで上記の曲混せてCDRプレゼントしました。数日後、「せんば〜い、嬉しいっ！アクセル踏み込んじゃう！」と大喜びしてくれました。おいおい、旦那さんとの新婚生活では暴走しないで（笑）と、ちょっと心配してます。